

授業科目	心理学演習	1 学年・後期・1 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	高橋義信 (教育研究棟 IC809 号) e-mail : yoshi@sapmed. ac. jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員			
概要	「心理学概論」で触れた心理実験を実際に行うことにより、心理学に対する理解をさらに深めるとともに、簡単な心理学実験の方法を修得する。また、心理テストを行い、心理テストの効用と限界を理解し、結果の数量的処理の仕方と解釈を学ぶ。		
到達目標	1. 初歩的な心理学実験ができる。 2. 生理学的手法、質問紙法などの心理測定ができる。 3. 実験結果の数量的解析ができる。		
関連科目	心理学概論、教育学		
評価	評価対象	評価割合 (%)	備考
	提出物	50%	
	演習課題達成度	50%	
教科書	指定なし		
参考書	①西本剛彦ほか [2000 年] 「認知心理学ワークショップ」 早稲田大学出版部		
履修上の留意点	すべての演習に参加できる人の履修を望みます。		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	科目の説明と次回以降に使用するデータの収集。	事後—配布資料のまとめを行う	演習	高橋
2	科目の説明と次回以降に使用するデータの収集。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
3	トランプを使ったゲームによって要求水準とは何か、その個人差を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
4	トランプを使ったゲームによって要求水準とは何か、その個人差を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
5	性格検査を行い、解釈する仕方を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
6	性格検査を行い、解釈する仕方を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
7	心理尺度を作成し、予備的データの収集	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
8	心理尺度を作成し、予備的データの収集	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
9	作成した心理尺度の信頼性を統計的に分析する。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
10	作成した心理尺度の信頼性を統計的に分析する。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃

11	協力ゲームを行う。協力の困難性や協力が生じる条件を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
12	協力ゲームを行う。協力の困難性や協力が生じる条件を学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
13	個人の意思決定と集団の意思決定はどちらが優れているのか。ゲームによって学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
14	個人の意思決定と集団の意思決定はどちらが優れているのか。ゲームによって学ぶ。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃
15	聴覚的記憶と視覚的記憶の実験を行う。	事後—配布資料のまとめを行う	〃	〃